



## 特別管理産業廃棄物処理計画書

H29年6月15日

大分県知事  
廣瀬 勝貞 殿

提出者 TOTOファインセラミックス株式会社 本社・中津工場  
住 所 大分県中津市大字田尻崎10  
氏 名 取締役社長 升本 浩之  
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 0979-32-1511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	TOTOファインセラミックス株式会社 本社・中津工場
事業場の所在地	大分県中津市大字田尻崎10
計画期間	H29.4月1日～H30.3月31日

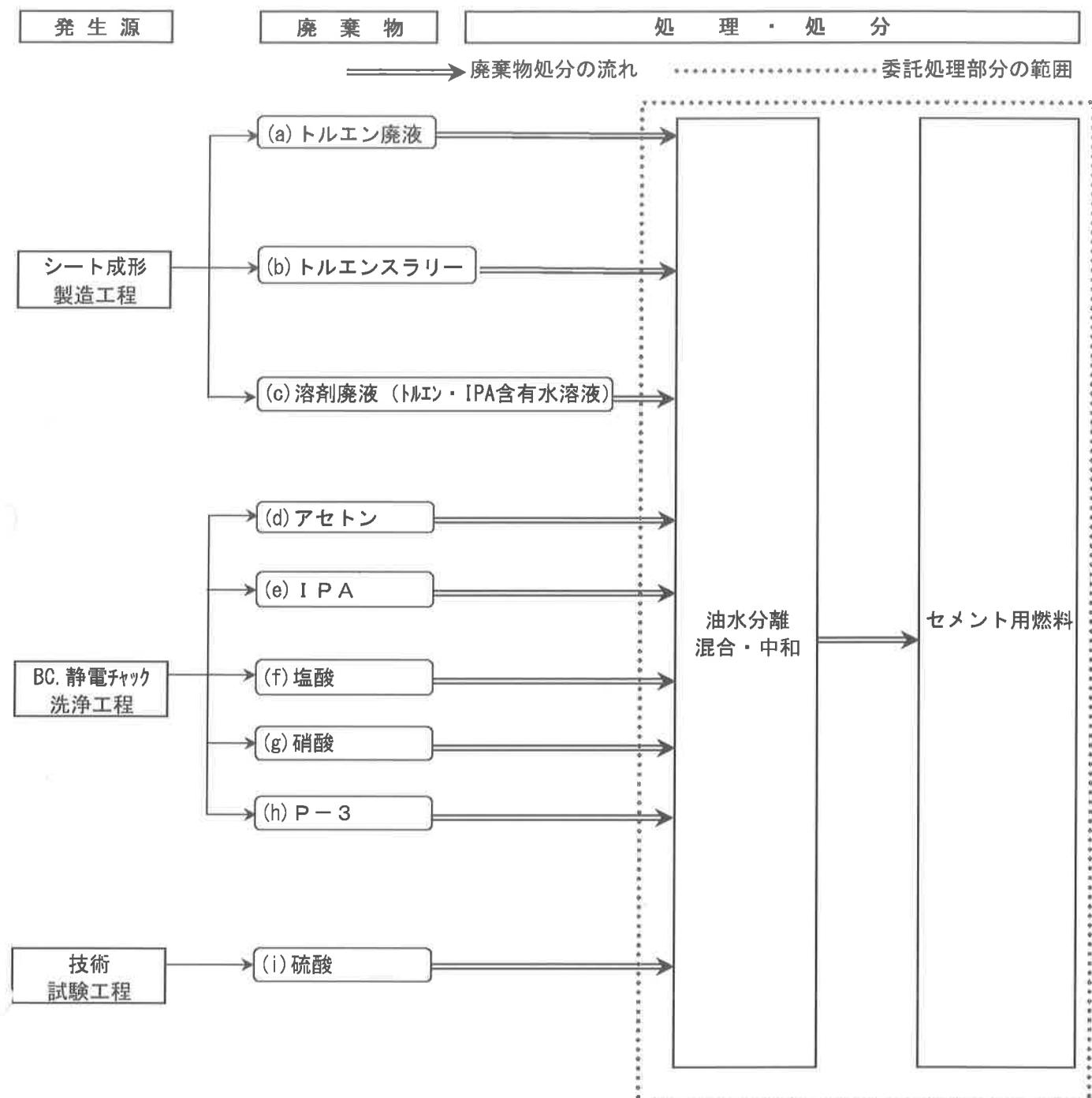
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	窯業(半導体製造装置用セラミック精密部品等の製造、販売)
②事業の規模	売上高(単独) 77億円
③従業員数	544名 2017年4月1日現在
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①のとおり。

(日本工業規格 A列4番)

## 別紙一①

## 特別管理産業廃棄物処理の一連の処理の工程



## 特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

安全環境課（廃棄物処理担当部門）

課長：日高 久美子

廃棄物管理担当者：宇佐 晴行

(特別管理産業廃棄物管理責任者)

各職場特別管理産業廃棄物置場（シート成形棟、屋内貯蔵所、溶剤廃液置場）排出（各産業廃棄物処分委託業者へ）

## 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

## 【前年度（平成28年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	トルエン廃液、トルエンスラリー、トルエンIPA含有水溶液	塩酸、硝酸、硫酸、アセトン、IPA
排出量	122.36 t	2.79 t

## ①現状

## (これまでに実施した取組)

製品の品質向上を図る為に管理基準データで品質を安定させ歩留まり向上を行っている。新製品の生産が増えた事に伴い排出量も増えた。（H27年度実績78.64tに対し、43.72t増）新製品専用製造ラインを立ち上げ量産試作継続、安定品質歩留り向上を図っている。

## 【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	トルエン廃液、トルエンスラリー、トルエンIPA含有水溶液	塩酸、硝酸、硫酸、アセトン、IPA
排出量	45.36 t	1.79 t

## ②計画

## (今後実施する予定の取組)

歩留り向上の維持管理を行う。  
増産と新製品専用製造ラインを立ち上げでトルエン排出は増える一方なので、29年度は特管産廃から有価化及び内製化を推進。  
H29年から実現に向けて施策実施。（排出量は、28年度ベースの目標）

## 特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類（トルエン廃液、トルエンスラリー、塩酸、硝酸、硫酸、アセトン、IPA, P-3) 専用施錠付室及び箱に品名最大保有数量を表示個別保管実施
-----	--

②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類と分別保管方法は現状維持運営する。
-----	--

## (第3面)

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度（平成28年度）実績】	
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		—
	特別管理産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t
(今後実施する予定の取組)			

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度（平成28年度）実績】	
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	トルエンIPA含有水溶液	—
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		—
	特別管理産業廃棄物の種類	トルエンIPA含有水溶液	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	12.000 t	0.000 t
(今後実施する予定の取組) 排水処理槽で浄化処理計画（H29/10予定） (排出量は、28年度ベースの目標)			

## (第4面)

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

		【前年度（平成28年度）実績】	
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行った 特別管理産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t
	(これまでに実施した取組) 埋立処分は実施しない		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行う 特別管理産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t
	(今後実施する予定の取組) 埋立処分は実施しない		

## 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（平成28年度）実績】	
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	トルエン廃液、トルエンラリー、トルエンIPA含有水溶液	塩酸、硝酸、硫酸、アセトン、IPA
	全処理委託量	122.36 t	2.79 t t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) 「有価化」①トルエン購入先及び新規業者に再正精製利用検討。一回の精製ロットに対して排出量が少ない、自社内大量保管場所がない。買取り費用に対して精製費用が大きい為、採算が合わないので断念。 ②熱エネルギーとして売却検討。新規業者にサソル提示、高カロリーを確認、買取決定。(H29/3) 「構内浄化処理」トルエンIPA含有水溶液、構内消化槽で処理検討。引火点確認、サソル浄化槽メーカーに処理基準等打合せ実施。テスト排出300ℓ (H28/12) 200ℓ (H29/2) 排出後、数値確認実施設備費用見積実施。			

【目標】		
特別管理産業廃棄物の種類	トルエン廃液、トルエンスラリー、トルエンIPA含有水溶液	アセトン、IPA
全処理委託量	77.000 t	1.000 t
優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
再生利用業者への 処理委託量	t	t
認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) トルエン廃液・アセトン・廃IPA売買契約締結(H29/4) H29/5月から売却実施。 トルエンIPA含有水溶液、構内浄化処理予定(H29/10)		
※事務処理欄		